

わ

輪

っしょい!

いちのせき
協働ニュース

2018年10月

vol.17



“笑顔と自然”あふれる奥玉をめざして

(7月28日千厩夏まつりにチームで参加)

奥玉振興協議会

会長：藤原 幸夫 電子メール okutama@circus.ocn.ne.jp

お問い合わせ先
電話：0191-56-2950
奥玉市民センター

奥玉地区の地域づくり



奥玉ふるさとまつり

8月15日開催、「えがお」をテーマにした仮装盆踊りや花火大会で賑わい、特別ステージや大抽選会も好評でした。

当協議会は、昭和61年1月に設立され、市内でも先駆けて各自治会・団体等と相互連携を図りながら地区の自治振興や地域づくり活動を進めてきました。なかでも、奥玉ふるさとまつりや地区民芸大会の歴史は古く、地区民総参加の取り組みとして定着しています。

平成28年12月に「笑顔と自然”あふれる奥玉”の実現を目指した地域づくり計画を策定し、幾多の先人の英知と努力により培われた「豊潤あらたまの郷土」の課題解決や地域づくりの推進母体として新たな活動を展開しています。

～守り・創り・育てる～活動を実践

新たな地域づくり計画では、安全安心・地域振興・教育文化の三つの専門部会を設置し、「守り・創り・育てる」活動を実践しています。

安全安心部会では、高齢者の見守り活動の充実や地域コミュニティの強化を目的に、「黄色い旗」を作成・全戸配付し、玄関先などに掲げて「元気で安心な地域」をアピールする「幸せの黄色い旗運動」を実践しています。

幸せの黄色い旗運動
市の花「なのはな」の黄色は、
地域をつなぐ幸せの色



事務局職員からひとこと (高橋 静さん)

4月から当協議会のスタッフとして活動しています。ついでに必死ですが、キャラの濃い奥玉の皆さんと楽しく地域を盛り上げるお手伝いできればと思います。

いちのせき協働ニュース
輪っしょい!の
発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取組みや、市民センターの「熱い」取組みなどを紹介します。
*地域協働とは、地域の自治会、消防団やPTAなど各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。

各地域の協働の取組み



永井地域コミュニティ活性化協議会

会長：渡邊 章市 電子メール nagaicomunity@yahoo.co.jp

問い合わせ先
電話：0191-84-2557
永井市民センター



臼と杵を使って力いっぱいもちつき体験

ら提供された不要になった布の端切れで装飾をつくり会場の雰囲気づくりも工夫しました。

定番の作品展示や芸能発表の他、もちつきや手づくり市、子ども広場などの体験コーナーを充実させ、住民参加型イベントとして楽しんでいただいています。

住民の「困った」に耳を傾けて

「永井にはコンビニや公衆トイレがなく不便だ」という住民の声に着目し、今年1月、「既存トイレ公衆化事業」を実施しました。仮設トイレの設置にはコストや管理の問題がありますが、企業や寺院に協力をいただき、協議会事業として外トイレを地域に開放することが決定しました。現在6カ所に「永井さわやかトイレ」が設置されています。

また、バイパス工事に伴い伐採予定の、歴史ある嘉栄（かえい）の松の活用方法を検討中。

その他、防災マップの作成や市民センターグラウンドの愛称募集など、住民からの意見をもとに専門部会が中心となり事業を展開しています。



さわやかトイレには目印となる看板を設置

地域の一大イベント「永井市民センターまつり」

毎年秋に開催している永井市民センターまつり。行政区長や集落公民館長をはじめ、地域内の様々な団体のご協力のもと運営しています。地元の中学生もスタッフとして参加。去年は地域の方



オリジナルのキャンドルづくり

各地域の協働の取組み



藤沢町住民自治協議会

会長：千田 博 電子メール fuji@dontokoi-f.com
ホームページ https://dontokoi-f.com

問い合わせ先
電話：0191-63-5515
藤沢市民センター



小坂町地域支え合い推進協議会を視察（小坂町役場）



住民ワークショップを開催（県立大との地域協働研究）



今後の取組み

今後も教育民生部会が中心となり、行政等と協議しながら、検討をすすめます。また、地域の課題として、自治会や地区協議会を含めて話し合う必要があると考えています。

本年度は、ワーキンググループの人員を検討し、設置をします。その後、地域の課題を選びワークショップを開催し課題解決に向けて取り組むことにしています。

地域の高齢化社会へ向けた取組み

当協議会では、教育民生部会を中心として、急激に進みつつある「高齢化社会」に向けて、どのように取り組んでいくべきかを検討しています。

「ふれあい一皿運動」や、地域の見守り等の課題について検討を進めてきました。この課題は教育民生部会だけで話し合いをしても課題解決は出来ないのではと考え、本年度から、各種団体、福祉にかかわる事業所等や行政にも加わっていただき「ワーキンググループ」を設置することにしました。

自治会長等視察研修会では、その先進地である秋田県小坂町の「小坂町支え合い推進協議会」を視察しました。



会長からひとこと

少子高齢化は地域の重要な課題となっています。

住民自治協議会としてこの課題に真剣に取り組んで行かなければなりません。

地域の方々や、自治会等の参画を得ながら進めて参ります。

きらり★輝く

FILE.
4

きらりと輝く地域づくりに
取り組んでいる方々や団体等を
ご紹介します。

手まりの会

【お問合せ先】
会長 佐藤 律子
電話 0191-75-2244 (曾慶市民センター)

所狭しと色とりどりの
作品が並びます



★「そげいのひなまつり」で地域を盛り上げる

「手まりの会」は、「曾慶を盛り上げるために何かしたい!」と立ち上がった女性たちで平成27年に発足。農閑期の手仕事(手芸や人形制作)の展示と住民の交流を目的に同年「そげいのひなまつり」を開催し、たくさんの方にご覧いただきました。それからは毎年バージョンアップしながら回を重ねて、今では曾慶の早春の風物詩となりつつあります。これからも地域の方々のアドバイスや会員の様々なアイデアを活かしながら、自分たちのできる範囲で来場者に喜んでいただける「そげいのひなまつり」を目指します。

♥まもなく5周年!

地域の方々の支えもあり、まもなく5周年を迎えます。ささやかながら自分たちのできる範囲でみなさんに楽しんでいただけるイベントを計画していますので、お楽しみに!

東山クレッシェンドの会

【お問合せ先】
代表 佐藤 美枝 電話 090-8786-9653
Facebook: 「東山クレッシェンドの会」

★音楽でまちおこし

平成28年、まちのコンサートで実行委員会を立ち上げたのがきっかけとなり、自分たちの力でコンサートを企画したい!との思いから「東山クレッシェンドの会」を結成。以来、地域の皆様の応援をいただきながら、数多くのコンサートを企画してきました。「アメリカ陸軍ビッグバンド」のコンサートでは、地域の中学生がプロの指導を受けフィナーレと一緒に演奏しました。子どもたちには、豊かな演奏を見たり聴いたりしながら夢を持ってもらいたいと思っています。音楽でまちが元気になることが私たちの願いです。



中村天平さんを囲んで!
(写真前列中央が中村天平さん)

♥これからも応援

よろしく願います!

10月5日には「中村天平」全国行脚ツアーコンサートを東山地域交流センターで開催しました。これからもプロによる本物の音楽をお届けしていきます。

芭蕉の道・迫街道(上街道)ツアー実行委員会



荻又一里塚(萩荘)を
訪れました

芭蕉の道・迫街道ツアーへの取組み

かつて松尾芭蕉が歩んだ道を観光資源化すべく、一関・栗原・岩出山の関係団体が連携し、平成28年度から地域おこし事業費補助金を活用しツアーを実施。ツアーガイドは、芭蕉の装束を纏って案内しました。今年は23人の参加者が芭蕉ゆかりの地を巡り、芭蕉への理解を深めました。

【お問合せ先】 実行委員長 齋藤 三郎 電話 0191-48-5888

川崎町子ども会育成会連合会



川の楽校
「なるほど川崎
探検隊」

青少年健全育成事業「川の楽校」

当連合会は、郷土愛と川崎っ子としての誇りを培うなどを目的として、地域住民が講師となり子どもたちにふるさと学習などの機会を与える、川の楽校を開催しています。

- 開催期間/平成30年6月~平成31年1月
- 開催場所/川崎市民センターほか川崎町内

【お問合せ先】 会長 菅原 常夫
事務局 川崎市民センター内 電話 0191-43-3112

あなたの参加が地域づくりへの第一歩。地域への参画を通じて、魅力あるまちづくりを進めていきましょう!

第6回 市民センターの今、ココが熱い!

舞川市民センター編

今回の「ココ熱」①



オープニングセレモニーの様子

舞川わくわく公園 プロジェクト

地域住民から「子どもが遊べる公園がほしい」という要望があったことから、子育て世代を中心としたプロジェクトを立ち上げ、遊具の選定やベンチの自主製作、プランター整備に取り組み、今年4月、舞川市民センターの敷地内に公園をオープンしました。

今回の「ココ熱」②



舞川イノベーション会議ロゴマーク

“舞川イノベーション会議”とは?

舞川地域課題対策協議会による地域づくり計画策定を進める中で、ワークショップに参加したメンバーの中の20代から40代の有志により構成されています。

毎月定例会を開催し、舞川地域の活性化に向けた取組みを若者ならではの目線で検討しています。

本年度は、「舞川ほたる火まつり」や「金色こはるCafé」を開催し、舞川地域を盛り上げました。

担当者からひとこと

事務局 吉田 真梨子さん

舞川には、魅力のある資源がまだまだ沢山あると思います。今後も、舞川らしさを見つけ、地域の人々を巻き込み、舞川を元気にする活動に取り組んでいきたいと思っています。

舞川イノベーション会議

「舞川ほたる火まつり」

平成29年から、棚田を利用した「舞川ほたる火まつり」を開催しています。ペットボトルを利用した灯籠で棚田を縁どることにより、幻想的な雰囲気を作ることができ、新たな魅力を発信できたと思います。

今後も地域住民の方々とアイデアを出し合い、パワーアップしていきたいと思っています。



約800本の灯籠が棚田を照らします



黄金色の麦畑にカフェをオープン

「金色こはるCafé」

7月1日、舞川第3遊水地内の麦畑で「金色こはるcafé」を開催しました。麦に囲まれた景観を活かした特設会場を作り、そこで生産された小麦粉を使ったピザや棒パン作り体験と、地元の産直に協力ももらい舞川産の野菜やお菓子を販売しました。また、中学生が会場運営に協力し、学校と地域の連携を深めることもできました。



協力をいただいたアグリパーク舞川、舞川中学校のみなさん



あぐりっ粉を使った棒パン、ピザ

【お問合せ先】舞川市民センター（舞川地域課題対策協議会）

電話 0191-28-2111 Facebook「舞川イノベーション会議」

